

平成 26 年度財務狀況説明資料

財務の概要

平成26年度決算の概要

【消費収支計算書】

① 消費収入の部 ② 消費支出の部 ③ 当年度消費支出超過額

489,462,278円－548,620,496円＝△59,158,218円

消費収入489,462,278円より、消費支出548,620,496円を控除した差額である。この超過額が当該年度の収入不足額、所謂、赤字額である。

※（ ）内は前年度決算増減額

◎収入の部 489,462,278円

- ・ 学生生徒等納付金収入 142,401,500円(増 6,261,611円)
対予算 減 4,272,500円
授業料等の納付金である。大学生3名、高校生3名が増えたことにより、授業料収入実習料等が増加し、前年度に対して増額となった。
- ・ 手数料収入 1,795,700円(減 435,000円)
対予算 増 240,700円
27年度の受験者の減少により入学審査料が減額となった。
- ・ 寄付金収入 169,161,475円(増 4,968,573円)
対予算 増 3,531,475円
 - A. 特別寄付金—11,150千円(増 2,668千円)
3,000千円(宗務院から東洋文化研究所、行学寮へ)、3,200千円(同窓会・保護者会)、1,000千円(ラオスサポーターズクラブ)、800千円(仏教伝道協会)、600千円(各種奨学金)、2,550千円(耐震事業)
 - B. 一般寄付金—152,529千円(減 2,937千円)
130,000千円(本山)、18,000千円(宗務院)、4,519千円(教育振興資金の寄付金)
教育振興基金への寄付金の減額により、前年度より減額となった。
 - C. 現物寄付金—5,482千円(増 5,238千円)
図書の現物寄付。
- ・ 補助金収入 141,758,378円(減 7,779,617円)
対予算 増 2,090,378円
 - A. 国庫補助金—99,671千円(減 7,155千円)
前年は25,000千円あった教育事業資金が本年は18,000千円となったための減額である。
 - B. 県からの補助金—42,087千円(減 625千円)
- ・ 資産運用収入 20,366,834円(減 1,024,445円)
対予算 増 4,100,834円
NTT、ソフトバンク等の基地使用料等である施設設備使用料が1,126千円増加するも、受取利息配当金が2,150千円減額したことによる。

- ・資産売却差額 22,401,000円(増 22,401,000円)
 対予算 増 22,401,000円
 国債3億円を解約した際の元金との差額益。
- ・事業収入 9,432,025円(減 483,986円)
 対予算 減 1,592,975円
 行学寮・女子寮の寮費収入、通信講座登録料、自動販売機手数料等。
 行学寮生25年度11名、26年度9名2名減によるもの。
- ・雑収入 44,621,410円(増 38,043,587円)
 対予算 増 2,518,310円
 25年度支払分退職金2,880千円、26年度支払分退職金39,413千円、差額
 36,533千円による。
- ・帰属収入 551,938,322円(増 58,800,077円)
 対予算 増 29,017,222円
 帰属収入は、資産売却差額22,401千円、退職金交付金36,533千円の増額による。
- ・基本金組入れ額 62,476,044円(増 15,754,291円)
 対予算 増 13,516,044円
 1号基本金に42,476千円、3号基本金に20,000千円の組入れ。
- ・消費収入合計 489,462,278円(増 43,045,759円)
 対予算 増 15,501,178円
- ◎支出の部 548,620,496円
- ・人件費支出 374,215,497円(増 40,929,099円)
 対予算 減 12,651,103円
 教職員人件費は、高校教諭、職員の給与引上げにより4,000千円増額。さらに、退
 職金支出の増額により対前年41,000千円の増額となった。
- ・教育研究費支出 112,415,989円(増 2,779,785円)
 対予算 減 29,706,701円
 各項目支出は前年並み。減価償却費2,400千円の増額による。
- ・管理経費支出 60,612,519円(減 5,312,413円)
 対予算 減 15,232,786円
 25年度は支払手数料として耐震検査費用3,360千円、雑費で浄化槽解体費用2,300
 千円、合計5,660千円あり、これが対前年の減額要因である。

・借入金等利息支出 68,990 円 (減 145,802 円)

対予算 減 51,010 円

女子寮建設費の借入金利息支出。

・消費支出合計 548,620,496 円 (減 38,999,217 円)

対予算 減 60,626,249 円

消費支出とは人件費、教育研究費、管理経費、借入金等利息、資産処分差額、更に有形固定資産の当年度減価償却費を加算した金額である。

・当年度消費支出超過額 59,158,218 円 (減 3,844,657 円)

【資金収支計算書】

※ () 内は前年度決算増減額

◎収入の部 1,102,390,698 円

・前受金収入 36,848,000 円 (減 11,147,000 円)

対予算 減 1,712,000 円

学生・生徒の翌年度授業料等の納付金であるが、27年度の学生8名の減少により、減額となった。

・その他の収入 586,105,783 円 (減 543,234,897 円)

対予算 増 65,657,283 円

預かり納付金、研修旅行預り金、その他の支出と両建て勘定である。

前年度基本金引当資産1,000,000千円を計上したが、本年度は420,000千円であり、この差額580,000千円が主要因である。支出の資産運用支出に反対勘定を計上。

◎支出の部 1,102,390,698 円

・借入金等返済支出 14,318,578 円 (減 153,175 円)

対予算 減 581,422 円

女子寮建設費及び実習棟建設のために山梨中央銀行、身延山久遠寺よりの借入返済金。

- ・施設関係支出 13,400,000 円 (増 7,872,400 円)
 対予算 ± 0 円
 食堂棟建設資金 7,190 千円 (17,982 千円の 40%)、設計管理業務費の内の設計業務費 6,210 千円。
- ・設備関係支出 23,982,767 円 (減 2,952,152 円)
 対予算 減 1,287,233 円
 教育研究用機器備品支出 2,136 千円、図書支出 755 千円の減額による。
- ・資産運用支出 21,672,542 円 (減 980,377,485 円)
 対予算 増 21,672,542 円
 25 年度に有価証券 (第 3 号基本金 1,000,000 千円) の運用商品の変更をおこなったが、26 年度は本科目経由の動きは 20,000 千円であった。
- ・その他の支出 144,089,841 円 (増 27,191,108 円)
 対予算 増 64,389,841 円
 収入の部のその他収入に計上の預り金・研修旅行費預り金等である。
- ・次年度繰越支払資金 398,458,384 円 (増 392,264,672 円)
 対予算 増 3,412,044 円
 耐震工事支払資金として、基本金 1,000,000 千円のうち 400,000 千円を次年度繰越支払資金に振替えたもの。

【貸借対照表】

(1) 資産の部

教育研究用機器備品 8,572 千円、図書 12,837 千円、建設仮勘定 13,400 千円増額となるも、建物費用 47,376 千円(減価償却 54,200 千円)、特定基本金引当資産の 400,000 千円の減額により、固定資産は 415,678 千円減額した。流動資産は基本金引当資産の現金預金への振替えにより 385,890 千円の増額となった。資産合計額 2,839,572 千円であり、対前年 29,788 千円の減額になった。

(2) 負債の部

長期借入金の返済により固定負債が 13,814 千円の減額、短期借入金・前受金・預かり金等の減額により流動負債が 19,293 千円減額し、負債の部合計では 33,106 千円の減額となった。

(3) 基本金の部

1号基本金が繰り入れにより 42,476 千円増額するも、3号基本金を 400,000 千円流動資産に振替えたことから基本金は 357,524 千円減額となった。

(4) 消費収支差額の部

負債の部、基本金の部、消費収支差額の部合計では 2,839,572 千円となり、資産の部と一致する。